

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：アスクさいど保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：長濱 静香	定員（利用人数）：70名 （利用人数：83名）
所在地：〒233-0008 横浜市港南区最戸1-16-3	
TEL：045-730-6123	ホームページ： https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/saido/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2012年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社日本保育サービス	
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：14名
専門職員	園長 1名 主任 1名
	保育士 20名 看護師 1名
	栄養士 2名 調理員 3名
	保育補助 2名
施設・設備の概要	保育室 6室 トイレ 3ヶ所
	調理室 1ヶ所 事務室 1ヶ所
	面談室 1室 職員休憩室 1室
	沐浴場 2ヶ所 調乳室 1室
	園庭 有

③ 理念・基本方針

○すべては子どもたちの笑顔のために
この文章のすべてという言葉の意味を常に考えながら全ての生活、全ての行事、全ての保育のあり方を考え行動しようと確認し合っている。

○人にやさしく ものにやさしく みんななかよし
子どもたちも口ずさみやすい文章にしたこの一文は園目標であり、園舎の目立つところに掲げている。意味合いにおいて協調性を意識したものであるが一方多様性の存在を確認するものである。

○大人たちの協調性、団結無くして子どもたちの真の笑顔無し
大人たち（保護者、おうちの方々、保護者及び職員、地域の方々等）が子どもたちの成長を見守っている。つまり子どもたちにとっての生活は保育園だけではない。これら当然のことだがあらゆる場面で大人たちそれぞれが忘れがちになってしまうので、明文化し様々なところで発信している。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園では、下記の考えに基づき保育が行われています。
互いを理解しようとする気持ちは、保育のみならず子育てひいては大人同士であっても人間関係の基である。保育園という視座で申し上げれば、保育士や職員が自らの目に映る子どもたちの姿だけで保育を行って良いものか長年の疑問であり、課題であ

る。

子どもたちの思いを想像すれば保育園での生活は多くても一日の半分である。保護者の立場に立ってみても同様である。そこで保育プログラムを立てる際保護者方に子どもたちのご家庭での姿や考えを伺うことが何よりも重要ではないだろうか。そこで先述の通り大人たちが一丸となることや協調性をもつことを常に呼びかけ、保護者方もまたおうちの方々も保育園での保育に参加しているという気持ちをもってもらうことにより、いわば自己中心的な振る舞いを軽減させると共に子育ての喜びや楽しさを感じてもらうことも重要な業務ととらえ運営を行っている。また、常に発信している言葉の一つに行事等は日々の生活の延長線上にあるというものがある。他園から異動してきた職員の指摘にもあるが当園は行事等が多いと指摘される。実際に比べたことはないが、事実保護者アンケート等からも察することができる。当園の特色として保護者方には自然な形のお子様をいつでもご覧頂けるよう環境整備を行っている。正直保護者方が求めているものとは違うが少なくとも保護者方に気づかない姿を見せてもらいましたという声が多く寄せられている。これは当園の自慢であり誇りでもあると職員に伝え自然体の美しさを確認し合っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年8月1日（契約日）～ 令和5年4月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	6回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 子どもの安全のために衛生環境に取り組んでいます

園では、子どもが安全に過ごせる基本的なことの一つに衛生環境があると考えています。感染症の流行もあり最近では衛生環境に力を入れる園も増えてきましたが、園では以前から衛生環境には特に力を入れてきています。感染予防対策として子どもたちのルータオルを全ての手洗い場で取りやめ、使い捨てペーパータオルを設置しています。また、園ではウォーターサーバーを設置し、子どもたちや職員の飲料水としています。また、毎月の「ほけんだより」では、季節ごとに流行する感染症の注意喚起や感染症予防の基本的な対策を、わかりやすいイラスト入りで発行しています。

2) 食育に力を入れています

食べることへの興味や関心を引き出すために、積極的に食育活動に取り組んでいます。園の玄関前では、子どもと栄養士が中心となって通常のプランターとは違う、脚付で高さのあるベジトラグを使用して野菜を栽培しています。ベジトラグで栽培したレタスを収穫し、給食に取り入れています。また、調理室は廊下側がガラス張りとなっていて、子どもたちは調理する様子を見ることができ、子どもが興味を持って食事を楽しめるような雰囲気作りを大切にしています。

3) 人材育成と人事管理の連携が望まれます

人材育成ビジョンに示されている「期待される職員像」に基づいて、職員がスキルや知識を獲得出来るように研修の機会が提供されています。失敗を恐れず自主的に考え行動することを奨励する方針は、この園で働く職員の成長につながっています。人材育成と人事管理の整合性に課題があり、職員の意向が異動等に十分反映されていません。管理職と職員との意思疎通を進め、人事管理に職員の意向も考慮し、人材育成につなげることが期待されます。

4) 理念実現に向け職員と協力した取組が期待されます

「すべては子どもたちの笑顔のため」という理念の実現を最重要視し、事業計画、行事計画に反映させたいとしています。その中で、職員間の仕事負担のアンバランスや行事における人数制限、実施内容のあり方など調整が難しい状況です。理念実現のためには現場で働く職員の理解のもと、園全体での取組が重要となっています。課題を職員と共いかに解決していくのか、園長の指導力が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

いわゆる定型文的な物言いを感じることなく、心のこもったご評価であったと感謝しております。

私としても指摘をする立場である以上、指摘することへの苦しさは理解しているつもりです。

それは、聞き手に少なからずとも素直さが必要だからです。

この第三者評価に対するコメントとして、ひと言で申し上げれば、晴れやかな気持ちにさせていただきました。

誠にありがとうございます。

尚、ご指摘事項の対策や対応といたしましては、会議録や行事等の感想、反省、また避難訓練や緊急手順等の明文化を行い、誰でも簡単に振り返りが行えるように取り組んでまいります。

また、それらの文章を適切に保管、管理することも併せて行ってまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり